

平成22年度

教育委員会事務点検評価報告書

(主要施策の成果に関する説明書)

平成23年 9 月

岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画アクションプラン[政策編]の取組と成果-----	1
政策項目No.24 家庭・地域との協働による学校経営の推進-----	2
政策項目No.25 児童生徒の学力向上-----	4
政策項目No.26 豊かな心を育む教育の推進-----	8
政策項目No.27 健やかな体を育む教育の推進-----	11
政策項目No.28 特別支援教育の充実-----	13
政策項目No.29 生涯を通じた学びの環境づくり-----	16
政策項目No.31 文化芸術の振興 -----	18
政策項目No.33 豊かなスポーツライフの振興-----	22
政策項目No.38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備-----	25

いわて県民計画

アクションプラン[政策編]の

取組と成果

岩手県では、平成21年12月に、「いわて県民計画（長期ビジョン）」（計画期間：平成21年度～平成30年度）を策定し、この計画の第1期アクションプランとして、平成21年度～平成22年度の2年間を対象とした「いわて県民計画アクションプラン[政策編]」を策定しました。

いわて県民計画アクションプラン[政策編]は、「政策 - 施策 - 事業」の体系により計画を推進していくものであり、政策項目（政策）には「目指す姿指標」、目指す姿を達成するための具体的な推進方策（施策）には「具体的な推進方策指標」という数値目標を掲げています。

この報告書は、いわて県民計画アクションプラン[政策編]で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成22年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に定める点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画アクションプラン[政策編]の42の政策項目のうち、教育委員会が所管する7つの政策項目（政策項目 24～ 29・ 33）及び他部局主管項目のうち、教育委員会関係部分（No.31・No.38）について掲載しています。
- ・ 目指す姿指標と推進方策指標の平成21年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	年度目標達成度	達成度 平成22年度にどれくらい達成したかを示す割合 達成度の計算方法
達成 (A)	100%以上	$\frac{(H22実績値 - H20現状値)}{(H22目標値 - H20現状値)} \times 100$ 例外的に、基準値よりも数値を下げることを目標とする指標は、次の計算式で算出 $\frac{(H20現状値 - H22実績値)}{(H20現状値 - H22目標値)} \times 100$
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を下げることを目標とする指標には、指標名の前に「 - 」を表示しています。
数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「 〃 」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していないなどの理由で、数値や達成度を「 - 」としている場合があります。

V 教育・文化

政策項目No.24：家庭・地域との協働による学校経営の推進

1 目指す姿

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、校長のリーダーシップのもとで、家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営への改革が進んでいます。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)目標達成型の学校経営への脱皮	0	0	0	0	0	0	0
(2)学校と家庭・地域との協働の推進	3	109,098	107,561	77,026	0	0	30,535

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
56 ★家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営に取り組む学校の割合	%	100	100	100	100	A

- 家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営に取り組む学校の割合は、平成21年度に引き続き100%を維持しており、達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標2指標は、いずれも「達成」となりました。

特記事項（外部要因等）

- 平成23年県民意識調査の結果によると、「学校と地域との協力」の重要度は36位、満足度は2位、ニーズ度は42位となっています。
- 上記県民意識調査では、質問項目が「行事や課外授業での学校と地域の協力」に限定されているものの、「ニーズ度が低い」という結果であり、重要度は低いが満足度は高く、満足度が低下しないよう取り組むべき項目であることを示しています。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策

【推進方策指標の達成度】	【推進方策指標の進捗状況】																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(H20)</th> <th>H22 目標</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>25</th> <th>50</th> <th>75</th> <th>100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">★「まなびフェスト」導入率</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">放課後の公的な居場所がある小学校区の割合</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>203.3</td> </tr> </tbody> </table>	現状値(H20)	H22 目標	0	25	50	75	100	★「まなびフェスト」導入率									100.0	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合									203.3
	現状値(H20)	H22 目標																										
0	25	50	75	100																								
★「まなびフェスト」導入率																												
				100.0																								
放課後の公的な居場所がある小学校区の割合																												
				203.3																								
	<p>※「★」が表示されている指標：数値を維持することを目標とする指標</p>																											

(1) 目標達成型の学校経営への脱皮

- 全ての学校が学校経営計画を策定し、それに基づいた学校経営が行われており、目標達成型の学校経営の定着を図りました。
- 学校経営計画の達成状況、成果・課題などを明らかにしながら公表するなど、家庭・地域と協働しながら開かれた学校経営となるよう取り組みました。

(2) 学校と家庭・地域との協働の推進

◎具体的な推進方策指標

具体的な推進方策指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
195 ★「まなびフェスト※」導入率	%	-	100	100	100	A
196 放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	78	81	81	84	A

- すべての学校で「まなびフェスト※」を導入しており、達成度は【A】となりました。
- 「放課後の公的な居場所がある小学校区の割合」は84%となり、達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
いわてコミュニティ・スクールステップアップ事業費【学校教育室】	10,515	補助金支出学校数	校	100	100	A	★対象校における「まなびフェスト」の取組割合	%	100	100	A
指導運営費(学校と地域の協働推進事業)【生涯学習文化課】	58,983	学校支援地域本部数	本部	45	47	A	学校支援ボランティア数	人	3,150	7,641	A
生涯学習推進費(放課後子ども教室推進事業)【生涯学習文化課】	38,063	指導者等の研修会の開催回数(累積)	回	12	12	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	81	84	A
		放課後対策の推進委員会の開催回数(累積)	回	8	8	A	放課後子ども教室数	箇所	150	134	B
		補助事業実施市町村数	市町村	25	25	A	市町村の運営委員会設置数	箇所	25	25	A

【用語解説】

※ まなびフェスト：県内公立小・中学校において、教職員、児童生徒、保護者等が目標を共有し協働して達成を目指すもので、目標が達成できたかどうかの判断基準となる数値や状態を設定し、具体的な取組とその取組過程を重視していくもの

V 教育・文化

政策項目No.25：児童生徒の学力向上

1 目指す姿

小・中学校においては、一人ひとりの児童生徒に基礎・基本が定着[※]し、高等学校においては、その上に立って生徒一人ひとりの目指す進路を実現できる学力が身に付いています。

【用語解説】※基礎・基本の定着…知識の習得とそれを活用する力、物事をしっかり考える力が身に付くこと

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)学習指導要領の改訂に伴う教育課程の編成	0	0	0	0	0	0	0
(2)授業改善の推進と家庭学習の充実	4	560,477	558,946	206,249	4,067	0	348,630
(3)数学(算数)・英語の学力向上	4	248,653	246,612	0	248	0	246,364
(4)地域・産業界と連携したキャリア教育の推進	2	21,059	19,727	0	0	0	19,727
(5)特色ある私立学校の支援	1	4,906,295	4,802,742	780,119	0	0	4,022,623

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
57 ▼学習定着度状況調査における定着の分布の状況(小5・算数)[分布の範囲]	-	33	32	30	33	D
58 学習定着度状況調査における定着の分布の状況(小5・算数)[中央値]	%	73	75	73	70	D
59 ▼学習定着度状況調査における定着の分布の状況(中2・数学)[分布の範囲]	-	43	41	40	40	A
60 学習定着度状況調査における定着の分布の状況(中2・数学)[中央値]	%	56	58	53	60	A
61 ▼学習定着度状況調査における定着の分布の状況(中2・英語)[分布の範囲]	-	36	34	38	40	D
62 学習定着度状況調査における定着の分布の状況(中2・英語)[中央値]	%	53	55	50	50	D
63 各学校が設定した進路目標を達成した学校の割合(高等学校)	%	66	100	91	91	C

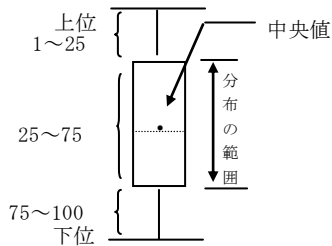
- 学習定着度状況調査における定着の分布の状況[※]については、「中2・数学」は達成度【A】となりましたが、それ以外は達成度【D】となりました。教員に対する研修の機会が十分でなかったこと、中学校2年生の英語に関しては、英語の4領域（聞く、話す、読む、書く）のうち、読む力と書く力の定着度が低かったことなどが要因と考えられます。
- 各学校が設定した進路目標を達成した学校の割合（高等学校）は91%で、昨年度と同じ割合であり、達成度は【C】となりました。学校によっては、生徒・教職員の意識を高めるため、あえて高く進学・就職などの目標を設定しており、全ての学校での目標達成には至らなかったことによるものです。
- 推進方策指標6指標（再掲含）のうち、達成度未確定の1指標を除き、「達成」が2指標（40.0%）、「遅れ」が3指標（60.0%）となりました。

特記事項（外部要因等）

- 少子化の進展や社会が成熟化する中で、家庭や地域の教育力の問題、ものごとに意欲的に取り組むことが以前よりも難しくなっていることが指摘されるようになってきました。こうした状況の中で、近年、教育をめぐるのは、子どもの学ぶ意欲や学力の低下などの問題が指摘されています。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は13位、満足度は25位、ニーズ度は15位となっています。

【用語解説】※学習定着度状況調査における定着の分布の状況

〔正答率の分布の範囲〕



学習定着度状況調査の結果を指導改善につなげるため、対象者を25%ずつ4分類して、定着状況を分析するもの。

※例えば、調査対象が100人の場合、

- ・分布の範囲：上位25~75人の正答率の分布範囲（幅）
- ・中央値：上位から50人目の正答率（例：中2数学 60%）

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策

【推進方策指標の達成度】	【推進方策指標の進捗状況】																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 現状値</th> <th>H22 目標</th> </tr> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>25</th> <th>50</th> <th>75</th> <th>100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中一貫教育モデルプラン作成地区数</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(中学生(3級))</td> <td>0</td> <td>14.3</td> <td>28.6</td> <td>42.9</td> <td>57.1</td> <td>51.7</td> </tr> <tr> <td>英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(高校生(準2級))</td> <td>0</td> <td>51.7</td> <td>103.4</td> <td>155.1</td> <td>206.8</td> <td>650.0</td> </tr> <tr> <td>職場体験(2日以上)実施校割合(中学校)</td> <td>0</td> <td>17.1</td> <td>34.2</td> <td>51.3</td> <td>68.4</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>インターンシップを体験した生徒割合(高校)</td> <td>0</td> <td>17.1</td> <td>34.2</td> <td>51.3</td> <td>68.4</td> <td>17.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「▲」が表示されている指標：H22の実績値がH20現状値(0)を下回っている指標（H22までの実績を▲で表示）</p>		H20 現状値	H22 目標		0	25	50	75	100	小中一貫教育モデルプラン作成地区数	0	25	50	75	100	100.0	英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(中学生(3級))	0	14.3	28.6	42.9	57.1	51.7	英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(高校生(準2級))	0	51.7	103.4	155.1	206.8	650.0	職場体験(2日以上)実施校割合(中学校)	0	17.1	34.2	51.3	68.4	17.1	インターンシップを体験した生徒割合(高校)	0	17.1	34.2	51.3	68.4	17.1
		H20 現状値	H22 目標																																										
	0	25	50	75	100																																								
小中一貫教育モデルプラン作成地区数	0	25	50	75	100	100.0																																							
英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(中学生(3級))	0	14.3	28.6	42.9	57.1	51.7																																							
英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(高校生(準2級))	0	51.7	103.4	155.1	206.8	650.0																																							
職場体験(2日以上)実施校割合(中学校)	0	17.1	34.2	51.3	68.4	17.1																																							
インターンシップを体験した生徒割合(高校)	0	17.1	34.2	51.3	68.4	17.1																																							

(1) 学習指導要領の改訂に伴う教育課程の編成

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
197 小中一貫教育モデルプラン作成地区数	地区	0	2	-	2	A

- 「小中一貫モデルプラン作成地区数」は2地区を指定し、達成度は【A】となりました。

(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
198 授業と連動した家庭学習の課題を計画的に出している学校の割合	%	-	100	-	-	-

- 小・中学校において、「まなびフェスト」の取組を通じた家庭学習の定着に向け、学校と家庭・地域との協働を進めましたが、震災の影響により調査が実施できなかったため、指標は未確定となりました。
- 教育振興運動*の取組において、平成21年度から「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」を全県共通課題として設定し、平成22年度も継続して取り組んでおり、各小中学校の「まなびフェスト」と連携を図る取組を引き続き推進しました。

【用語解説】

※ 教育振興運動：子ども、親、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題を解決していく岩手県独自の取組。県内全市町村に推進組織が置かれ、学校区や公民館区単位の実践区において自主的に行われる。昭和40年に始まり、平成22年には489の実践区で取り組まれている。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
教職員研修費(授業力向上研修)【学校教育室】	7,804	校種ごと実施講座	講座	17	15	B	研修受講者の満足度	%	85	98	A
指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	15,774	調査分析の計画的な実施(調査システムの改善)率	%	100	100	A	★システムによる分析を行った学校の割合	%	100	100	A
		-	-	-	-	-	★報告書を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A
すこやかサポート推進事業費【教職員課】	259,150	小学校で30人を超える学級を1～5有する学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	90	96	A
		14～16人複式学級への非常勤講師の配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	100	A
教職員費(学校生活サポート推進事業)【教職員課】	276,218	生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある中学校への配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	91	A
		学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある中学校への配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	85	82	B

(3) 数学(算数)・英語の学力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
199 英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(中学生(3級))	%	30.4	50.0	27.4	27.6	D
200 英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(高校生(準2級))	%	28.0	40.0	31.0	34.2	D

- 英語検定のそれぞれの級レベルの英語力を身に付けている生徒の割合(中学生(3級)・高校生(準2級))は、教員の研修機会が限られるため、指導方法の改善について十分に浸透が図られなかったことから、中学生・高校生とも目標値に達せず、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業)【学校教育室】	53,537	外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	10	10	A	ALTが週1回以上授業した県立学校の割合	%	19.0	19.0	A
		-	-	-	-	-	外国語指導助手(ALT)の派遣校数	校	12	12	A
いわて進学支援ネットワーク事業費【学校教育室】	23,946	東大・医学部対策講座の実施校数(3年生)	校	14	16	A	東大・医学部対策講座の受講者数(3年生)	人	105	101	B
		二次重視大学対策講座の実施校数(3年生)	校	24	19	C	二次重視大学対策講座の受講者数(3年生)	人	465	657	A
		センター重視大学対策講演会の実施校数(1・2年生)	校	43	41	B	センター重視大学対策講演会の受講者数(1・2年生)	人	415	407	B
外国語教育推進事業費【学校教育室】	160,123	民間委託の外国語指導助手(NS)の委託人数	人	37	37	A	NSが週1回以上授業した県立学校の割合	校	81.0	81.0	A
		-	-	-	-	-	NSの県立学校への派遣校数	校	52	52	A
中高連携英語力向上推進事業費【学校教育室】	9,006	英語能力判定テストを受ける中学生の数	人	12,900	12,900	A	英検3級レベルを身に付けている中学3年生の割合	%	50.0	27.6	D
		改善研修会の開催回数	回	3	9	A	改善研修会を受講する中学生教員の数	人	188	360	A

(4) 地域・産業界と連携したキャリア教育*の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
再37 職場体験(2日以上)実施校割合(中学校)	%	68.8	70.0	70.2	76.6	A
再38 インターンシップを体験した生徒割合(高校)	%	45.9	50.0	46.4	46.6	D

【用語解説】※キャリア教育：児童生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育

- 職場体験(2日以上)実施校割合(中学校)は、76.6%となり、達成度は【A】となりました。
- インターンシップを体験した生徒割合(高校)は46.6%となり、達成度は【D】となりました。これは、専門高校及び総合学科高校については全ての高校でインターンシップが実施されたものの、普通高校において、

前年度を上回ったものの目標に届かなかったことによるものです。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
いわて未来創造人サポート事業費【学校教育室】	12,439	職場見学・学校訪問等の進路指導実施校	校	45	43	B	事業目的の成果があった学校割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
		地域に係るものづくり体験学習実施校数	校	44	40	B	-	-	-	-	-
		地域理解、世代・校種間交流活動実施校数	校	52	47	B	-	-	-	-	-
学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業費【学校教育室】	7,288	総合学科高校のインターンシップ支援学校数	校	6	6	A	職場インターンシップを実施した高等学校の割合	%	70	79	A
		企業見学実施支援学校数	校	18	18	A	-	-	-	-	-

(5) 特色ある私立学校の支援

- 建学の精神に基づいた特色ある教育を実践し、少人数教育、複数教員配置等による学力向上やキャリア教育に取り組んでいる私立学校に対し、新時代を拓く特色ある学校づくり推進事業等によりその経費の一部を助成するとともに、情報提供等に努めました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
私立学校運営費補助【法務学事課】	4,802,742	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

V 教育・文化

政策項目No.26：豊かな心を育む教育の推進

1 目指す姿

児童生徒一人ひとりが豊かな人間性をはぐくみながら、意欲的に学習や体験活動に取り組み、いきいきとした学校生活を実現しています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)児童生徒一人ひとりの自己実現を支援する学校づくり	0	0	0	0	0	0	0
(2)心の教育の充実	2	1,680	1,457	396	0	0	1,061
(3)家庭・地域との協働の充実	1	3,755	3,583	0	0	0	3,583
(4)学校不適応対策の推進	5	149,831	148,483	48,808	0	0	99,675
(5)私立学校における取組の支援	0	0	0	0	0	0	0

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
64 学校における道徳教育全体計画作成の割合(小学校)	%	95	100	-	100	A
65 学校における道徳教育全体計画作成の割合(中学校)	%	93	100	-	100	A
66 児童生徒の読書者率(小5)	%	99	100	99	99	D
67 児童生徒の読書者率(中2)	%	78	86	82	86	A
68 児童生徒の読書者率(高2)	%	67	74	65	58	D

- 学校における道徳教育全体計画作成の割合は、小学校・中学校ともに100%となり、達成度は【A】となりました。
- 中学校2年生の読書者率は86%となり、達成度は【A】となりましたが、小学校(5年生)及び高等学校(2年生)は【D】となりました。小学校については、各学校における取組によりほぼ100%に達しつつあるものの、前年度からの伸びが見られないこと、高等学校については、読書活動の習慣が身につけている生徒とそうでない生徒の2極分化傾向によるものです。
- 推進方策指標7指標のうち、達成度未確定の3指標を除く4指標は、いずれも「達成」となりました。

特記事項(外部要因等)

- 平成20年3月に告示された小中学校学習指導要領にも、豊かな人間性を育むために「体験活動の充実」がうたわれており、今後も学校教育の中で体験活動の機会を確保し、充実することが求められています。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は7位、満足度は23位、ニーズ度は10位となっています。

【用語解説】※児童生徒の読書者率：月に1冊以上読書した児童生徒の割合。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策

【推進方策指標の達成度】	【推進方策指標の進捗状況】				
<p>4指標 達成【A】 100.0% 4指標</p>	H20 現状値 H22 目標				
	0 25 50 75 100				
	★体験活動実施校の割合(小学校)	100.0			
	★体験活動実施校の割合(中学校)	100.0			
	ボランティア活動実施校の割合(高等学校)	100.0			
放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	200.0				
※「▼」が表示されている指標：数値を下げることを目標とする指標 ※「★」が表示されている指標：数値を維持することを目標とする指標					

(1) 児童生徒一人ひとりの自己実現を支援する学校づくり

- 指導主事による学校訪問指導を通して、道徳や特別活動・総合的な学習の時間・生徒指導・各種体験活動等に関する教職員の指導力を強化することや、他の模範となる児童生徒の活動の表彰（スポーツ・文化・奉仕活動）を行い、児童生徒の向上心をはぐくむなど、児童生徒の自己実現を支援する学校づくりを進めました。

(2) 心の教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
201 ★体験活動実施校の割合(小学校)	%	100	100	-	100	A
202 ★体験活動実施校の割合(中学校)	%	100	100	-	100	A
203 ボランティア活動実施校の割合(高等学校)	%	93	100	100	100	A

- 体験活動実施校の割合（小学校・中学校）、ボランティア活動実施校の割合（高等学校）は、いずれも100%となり、達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
豊かな体験活動推進事業費【学校教育室】	824	推進校における体験活動の実施校数	校	5	1	D	ボランティア活動実施校の割合(小学校)	%	100	100	A
		推進協議会の開催回数	回	2	2	A	ボランティア活動実施校の割合(中学校)	%	100	96	B
生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業)【生涯学習文化課】	633	読書ボランティア等研修会の回数(累計)	回	52	83	A	中学校2年生の読書者の割合	%	86	86	A
		-	-	-	-	-	学校における読書ボランティア活用割合	%	80	63	C

(3) 家庭・地域との協働の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
再 196 放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	78	81	81	84	A

- 放課後の公的な居場所がある小学校区の割合は、「放課後子ども教室推進事業」により26市町村に134か所の放課後子ども教室が設置されたことなどにより84%となり、達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
生涯学習推進費(放課後子ども教室推進事業)【生涯学習文化課】(再掲)	(38,063)	指導者等の研修会の開催回数(累積)	回	12	12	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	81	84	A
		放課後対策の推進委員会の開催回数(累積)	回	8	8	A	放課後子ども教室数	箇所	150	134	B
		補助事業実施市町村数	市町村	25	25	A	市町村の運営委員会設置数	箇所	25	25	A
家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	3,583	子育てサポーター養成講座の開催回数(累計)	回	28	36	A	子育てサポーター認定者数(累計)	人	260	368	A

(4) 学校不適応対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
204 ▼不登校児童生徒の出現率(小学校)	%	0.20	0.20	0.19	-	-
205 ▼不登校児童生徒の出現率(中学校)	%	2.51	2.30	2.19	-	-
206 ▼不登校児童生徒の出現率(高等学校)	%	1.44	1.40	1.54	-	-

- 不登校児童生徒の出現率については、月3日以上欠席した児童生徒への早期対応を図るなど、学校全体で指導に当たり、学校不適応の未然防止、早期発見・早期対応に取り組みました。
- スクールカウンセラーを配置(小学校6校、中学校126校、高等学校11校)し、学校不適応児童生徒に対する専門的な教育相談を行うとともに、教員に対しても専門的な助言を行い、適切な対応を行えるようにしました。また、平成22年度からは、すべての公立中学校がスクールカウンセラーを活用できる体制を整え、学校における相談体制の充実を図りながら、学校不適応の未然防止、早期発見・早期対応の取組を強化しました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー・24時間いじめ相談ダイヤル事業)【学校教育室】	125,522	電話相談窓口の設置・運営(一式)	式	3	3	A	★相談希望への対応	%	100	100	A
		携帯カードの作成枚数	枚	15,000	13,300	B	-	-	-	-	-
		中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	187	187	A	-	-	-	-	-
児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業)【学校教育室】	3,184	スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	10	10	A	★相談希望への対応率	%	100	100	A
児童生徒健全育成推進費(問題を抱える子ども等の自立支援事業)【学校教育室】	3,725	調査研究を実施している市町村数	市町村	13	13	A	★問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A
		自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	-	-	-	-	-
		囁託医・カウンセラーの配置人数	人	2	2	A	-	-	-	-	-
児童生徒健全育成推進費(学校不適応総合対策事業)【学校教育室】	15,057	高校カウンセラーの配置人数	人	10	10	A	★支援希望への対応率(中学校)	%	100	100	A
		適応支援相談員の配置人数	人	-	-	-	★相談希望への対応率(高校)	%	100	100	A
児童生徒健全育成推進費(情報モラル教育推進事業)【学校教育室】	995	養成講座の回数(累計)	回	3	3	A	養成講座の参加人数(累計)	人	130	136	A
		講師派遣回数(累計)	回	75	122	A	情報サイト活用授業を受けた児童生徒数(累計)	人	5,600	7,931	A
		情報モラル地域フォーラム回数(累計)	回	8	8	A	フォーラム参加人数(累計)	人	800	814	A

(5) 私立学校における取組の支援

- 児童生徒の不登校や問題行動等の学校不適応対策としてのスクールカウンセラーの配置や相談のサポート、ボランティア教育などの心の教育等を実践している私立学校に対し、教育改革推進特別経費や新時代を拓く特色ある学校づくり推進事業等によりその経費の一部を助成するとともに、情報提供等に努めました。

V 教育・文化

政策項目No.27：健やかな体を育む教育の推進

1 目指す姿

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、積極的にスポーツや運動に取り組むことによって、将来にわたって健康で充実した生活を営むことができる体力を身に付けています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)「岩手っ子体力アップ運動」の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2)体育の授業力向上	1	11,347	10,531	6,090	0	0	4,441

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
69 ▼「体力・運動能力調査※」の総合評価D・E段階の児童の割合(小学6年生)	%	20.4	18.0 以下	20.4	21.4	D
70 ▼肥満傾向児の割合(小学6年生)	%	14.4	11.0 以下	14.1	15.3	D

- 「体力・運動能力調査」の総合評価D・E段階の児童の割合(小学6年生)は、運動をする子どもとそうでない子どもの二極化傾向や50m走の走力の低下傾向の課題が解決されていないことなどにより、21.4%となり、達成度は【D】となりました。
- 肥満傾向児の割合(小学6年生)は、学校における具体的な肥満対策の取組がまだ遅れていることなどから15.3%となり、達成度は【D】となりました。
- 推進方策指標2指標は、「達成」・「概ね達成」が各1指標となりました。

特記事項(外部要因等)

- 子どもの体力向上については、文部科学省の全国的な体力・運動能力調査結果からも、運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向が見られます。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「子どもの体力向上」の重要度は15位、満足度は7位、ニーズ度は32位となっています。

【用語解説】※体力・運動能力調査：通常は文部科学省が行う全国調査を指すが、本県では補完的に行っている独自調査も指している。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策

【推進方策指標の達成度】	【推進方策指標の進捗状況】																					
<p>概ね達成【B】50.0% 1指標 達成【A】50.0% 1指標 2指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 現状値</th> <th>H22 目標</th> </tr> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>25</th> <th>50</th> <th>75</th> <th>100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「岩手っ子体力アップ運動」の実施率(小学校)</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>体育実技支援を希望する学校へ体育実技アシスタントを派遣する割合(小学校)</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>		H20 現状値	H22 目標		0	25	50	75	100	「岩手っ子体力アップ運動」の実施率(小学校)						体育実技支援を希望する学校へ体育実技アシスタントを派遣する割合(小学校)					
	H20 現状値	H22 目標																				
	0	25	50	75	100																	
「岩手っ子体力アップ運動」の実施率(小学校)																						
体育実技支援を希望する学校へ体育実技アシスタントを派遣する割合(小学校)																						

(1) 「岩手っ子体力アップ運動」の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
207 「岩手っ子体力アップ運動」の実施率(小学校)	%	83	100	84.4	99.5	B

- 岩手っ子体力アップ運動*の実施率(小学校)は99.5%となり、ほぼ年次目標に到達したため、達成度は【B】となりました。

【用語解説】※岩手っ子体力アップ運動：児童生徒の体力向上のための本県独自の取組（H20から実施）。各小中学校は「まなびフェスト」に健康・体力に係る目標を設定し、指導主事兼保健体育主事の学校訪問指導等により、目標達成を支援する

(2) 体育の授業力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
208 体育実技支援を希望する学校へ体育実技アシスタントを派遣する割合(小学校)	%	85.5	100	91.4	100	A

- 体育実技支援を希望する学校へ体育実技アシスタントを派遣する割合(小学校)は100%となり、達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
児童の体力向上推進事業費【スポーツ健康課】	10,531	体育実技アシスタントの数	人	60	65	A	体育実技アシスタントの派遣学校数	校	60	61	A
		小学校体育ステップアップ講習会の開催回数	回	4	4	A	小学校体育ステップアップ講習会の参加者数	人	80	71	B

V 教育・文化

政策項目No.28：特別支援教育の充実

1 目指す姿

学校と地域の連携により、障がいのある児童生徒一人ひとりが特別な教育的ニーズに応える支援体制のもと、自己実現に向けて共に学び、育ち合う学校が実現されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)障がいのある児童生徒を受け入れる教育の場の拡充	0	0	0	0	0	0	0
(2)すべての学校における特別支援教育体制の充実・強化	2	32,943	30,418	7,272	0	0	23,146
(3)障がいのある児童生徒の学習・生活を支える支援員の配置	1	29,644	29,191	0	122	0	29,069
(4)特別支援教育に対する県民の理解の増進	0	0	0	0	0	0	0
(5)関係機関や企業等と連携した障がいのある生徒の就業支援	0	0	0	0	0	0	0

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

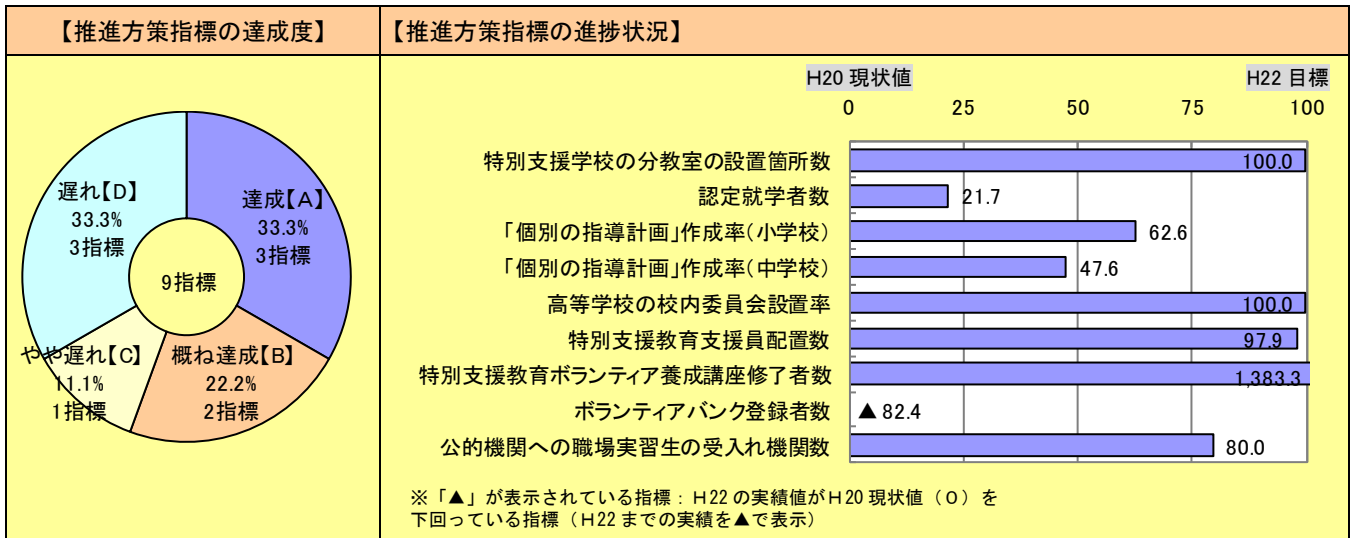
指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
71 特別支援学校の対象児を在籍させる小・中学校の割合	%	13	15	12	13	D
72 特別支援学級の対象児を通常の学級に在籍させる小・中学校の割合	%	31	35	31	34.5	B
73 特別支援学校の高等部卒業生のうち一般就労を希望する者の就労達成率	%	89	90	79	92	A

- 特別支援学校の対象児を在籍させる小・中学校の割合は13%となり、前年度よりも増加したものの、中学校での受入れが進まなかったことにより、達成度は【D】となりました。
- 特別支援学級の対象児を通常の学級に在籍させる小・中学校の割合は、34.5%と前年度よりも増加し、達成度は【B】となりました。
- 特別支援学校の高等部卒業生のうち一般就労を希望する者の就労達成率は、前年度より約10ポイント増加の92%となり、達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標9指標のうち、「達成」・「概ね達成」が5指標(55.6%)、「やや遅れ」・「遅れ」が4指標(44.4%)となりました。

特記事項（外部要因等）

- 国においては「障害者の権利条約」批准に関わって、障がい者制度改革推進会議において、今後の障がいのある子どもの教育の場を含めた現行の制度の検討が行われています。平成22年12月には、障がいのある子どもも原則地域の小・中学校に就学することなどが盛り込まれた第二次意見書が出されました。こうした動向を受け、今後、障がいのある子どもを地域の小・中学校で受け入れを進めていくインクルーシブ教育の流れは一層推進することが予想されます。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は20位、満足度は21位、ニーズ度は22位となっています。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策



(1) 障がいのある児童生徒を受け入れる教育の場の拡充

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
209 特別支援学校の分教室の設置箇所数	箇所	3	4	4	4	A
210 認定就学者数	人	7	30	9	12	D

- 特別支援学校の分教室の設置箇所数は4か所であり、達成度は【A】となりました。
- 認定就学者数^{*}は12名となり、前年度より増加しましたが、認定に伴う小中学校における教員の配置や校舎の施設整備等、市町村の財政的負担が課題となり、達成度は【D】となりました。

【用語解説】※認定就学者：特別支援学校に就学すべき障がいの程度の児童生徒のうち、市町村教育委員会が小中学校において適切な教育を受けることができる特別の事情があると認める者

(2) すべての学校における特別支援教育体制の充実・強化

◎具体的な推進方策指標

具体的な推進方策指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
211 「個別の指導計画」作成率(小学校)	%	57.0	80.0	62.8	71.4	C
212 「個別の指導計画」作成率(中学校)	%	52.1	75.0	57.1	63.0	D
213 高等学校の校内委員会設置率	%	81.3	100.0	85.1	100.0	A

- 「個別の指導計画」作成率は、小学校・中学校とも前年度より向上していますが、「個別の指導計画」の作成に時間がかかることや教員間で特別な支援を必要とする児童生徒の共通理解が不足していることから、達成度はそれぞれ【C】、【D】となりました。
- 高等学校の校内委員会^{*}設置率は、全ての高等学校で設置され、達成度は【A】となりました。

【用語解説】※校内委員会：特別な支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、必要な指導や対応の検討を行い、必要に応じて専門機関との連携を図るため、学校内に設置される協議組織

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業)【学校教室】	28,314	看護師の配置数	人	34	33	B	★看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A
		看護師等研修会の開催	回	1	2	A	医療的ケアの対象児童生徒数	人	39	40	A
		-	-	-	-	-	研修会参加看護師数	人	34	33	B
特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教室】	2,104	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A	★巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
		研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	65	53	B	研修会参加人数	人	1,460	1,665	A

(3) 障がいのある児童生徒の学習・生活を支える支援員の配置

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
214 特別支援教育支援員配置数	人	255	400	333	397	B

- 特別支援教育支援員配置数は、市町村での配置が進み前年度より64人増加し、397人となりましたが、目標にはわずかに届かず、達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業)【学校教育室】	29,191	高等学校への支援員配置数	人	24	24	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	85.0	100.0	A
特別支援教育推進事業費(特別支援教育補助員配置事業)【学校教育室】(緊急雇用基金)	(14,322)	特別支援学校への補助員の配置	人	10	10	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	95.0	100.0	A

(4) 特別支援教育に対する県民の理解の増進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
215 特別支援教育ボランティア養成講座修了者数	人	94	100	126	177	A
216 ボランティアバンク登録者数	人	33	50	28	19	D

- 特別支援教育ボランティア養成講座修了者数は、特別支援学校3校において講座を開催し、累計177人となり、達成度は【A】となりました。
- ボランティアバンク登録者数は、19人で、達成度は【D】となりました。これは、ボランティア養成講座修了者数は増加したものの、その中でボランティアバンクの登録要件を満たした者の人数が増えなかったことによるものです。

(5) 関係機関や企業等と連携した障がいのある生徒の就業支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
217 公的機関への職場実習生の受入れ機関数(5日以上)	機関	12	22	13	20	B

- 公的機関への職場実習生の受入れ機関数は20機関となり、達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
特別支援教育推進事業費(特別支援学校就業支援事業)【学校教育室】(緊急雇用基金を含む)	(19,710)	特別支援学校への就業支援員の配置	人	14	14	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	95.0	100.0	A

V 教育・文化

政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

1 目指す姿

県民一人ひとりが、生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学んでいます。また、学びを通じて「郷土いわたて」に誇りを持ち愛着を深めています。

さらには、学びの成果が豊かな生活や生きがいづくりにつながるとともに、ボランティア活動などを通じた社会貢献への意識が高まり、地域コミュニティの中で相互に支え合いながら、その一員としての役割を担っています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)多様な学習活動を支援する環境の整備充実	2	7,760	5,954	767	0	0	5,187
(2)生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
74 生涯学習に取り組んでいる割合	%	-	38.8	33.8	34.0	D

- 生涯学習に取り組んでいる割合は34.0%となり、達成度は【D】となりました。これは、「生涯学習とは何か」という概念の啓発が十分なされていないことが原因と考えられます。
- 推進方策指標5指標のうち、達成度未確定の1指標を除き、「達成」・「概ね達成」が3指標（75.0%）、「遅れ」が1指標（25.0%）となりました。

特記事項（外部要因等）

- 県教育委員会が平成22年3月に実施した「県民の生涯学習に関する調査」では、「自分の市町村でより良い地域をつくるために取り組まなければならないことが多い」との回答は80.3%、「自分の市町村で地域の課題を解決する活動のためには役所・役場、教育委員会の支援が必要である」とする回答は78.7%となりました。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は32位、満足度は24位、ニーズ度は30位となっています。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策

【推進方策指標の達成度】	【推進方策指標の進捗状況】																																					
<p>遅れ【D】 25.0% 1指標 達成【A】 50.0% 2指標 概ね達成【B】 25.0% 1指標 4指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 現状値</th> <th>H22 目標</th> </tr> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>25</th> <th>50</th> <th>75</th> <th>100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習情報提供システム利用件数</td> <td colspan="5"></td> <td>216.5</td> </tr> <tr> <td>学習相談「マナビコール」対応件数</td> <td colspan="5"></td> <td>152.2</td> </tr> <tr> <td>家庭教育学級講座参加者数</td> <td colspan="5"></td> <td>▲ 392.8</td> </tr> <tr> <td>教育振興運動実践区における全県共通課題の取組率</td> <td colspan="5"></td> <td>98.6</td> </tr> </tbody> </table>		H20 現状値	H22 目標		0	25	50	75	100	生涯学習情報提供システム利用件数						216.5	学習相談「マナビコール」対応件数						152.2	家庭教育学級講座参加者数						▲ 392.8	教育振興運動実践区における全県共通課題の取組率						98.6
		H20 現状値	H22 目標																																			
	0	25	50	75	100																																	
生涯学習情報提供システム利用件数						216.5																																
学習相談「マナビコール」対応件数						152.2																																
家庭教育学級講座参加者数						▲ 392.8																																
教育振興運動実践区における全県共通課題の取組率						98.6																																
	<p>※「▲」が表示されている指標：H22の実績値がH20現状値（0）を下回っている指標（H22までの実績を▲で表示）</p>																																					

(1) 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
218 生涯学習情報提供システム利用件数(システムへのアクセス数)	件	25,615	28,000	27,935	30,778	A
219 学習相談「マナビィコール」対応件数	件	227	250	224	262	A
220 生涯学習ボランティアセンター相談件数	件	271	300	161	-	-

- 生涯学習情報提供システム利用件数(システムへのアクセス数)は30,778件、学習相談「マナビィコール」対応件数は262件となり、それぞれ達成度は【A】となりました。
- 生涯学習ボランティアセンターの相談件数は、これまで各教育事務所で対応した相談件数を集計してきましたが、「まナビネットいわて」において情報を一元化し、集計方法が変更となったことにより、把握できませんでした。(参考:ボランティア情報へのアクセス数 5,872件)

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】(再掲)	(3,583)	子育てサポーター養成講座の開催回数(累計)	回	28	36	A	子育てサポーター認定者数(累計)	人	260	368	A
		子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	6,400	6,732	A
家庭教育推進費(家庭教育力向上に向けた総合的施策推進事業)【生涯学習文化課】	1,818	子育てサポーター養成講座の開催回数(累計)	回	28	36	A	子育てサポーター認定者数(累計)	人	260	368	A
		訪問型家庭教育支援チーム活動日数	日	310	103	D	訪問型家庭教育支援チーム対応件数	件	1,460	301	D
全国生涯学習フォーラム開催事業費【生涯学習文化課】	4,136	モデルプログラム事業の実施	箇所	4	4	A	生涯学習情報提供システム利用件数(システムへのアクセス回数)	件	28,000	30,778	A
		専門委員会の実施	回	2	2	A	-	-	-	-	-
		実行委員会の実施	回	2	2	A	-	-	-	-	-

(2) 生涯にわたる学習機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
221 家庭教育学級講座参加者数	人	⑱73,446	75,000	⑳72,698	㉑67,342	D
222 教育振興運動実践区における全県共通課題の取組率	%	-	80.0	58.2	78.9	B

- 平成21年度の家庭教育学級講座*参加者数は67,342人となり、達成度は【D】となりました。これは、前年度に比べて市町村立公民館が開催する講座が3349講座(うち家庭教育分野の講座は242講座)減少したことが影響していると考えられます。
- 教育振興運動実践区における全県共通課題の取組率は78.9%となり、達成度は【B】となりました。

【用語解説】※家庭教育学級講座：市町村や教育事務所等の主催で、主に地域の公民館等で行われる家庭教育に関する講座(例：父親のための育児講座、保護者のための情報モラル・ネットトラブル対策講座等)

V 教育・文化

政策項目No.31：文化芸術の振興

1 目指す姿

文化芸術に親しむことができる環境が整備され、地域における文化芸術活動が活発に展開されています。また、郷土への誇りと愛着をもたらす歴史遺産や伝統文化が暮らしの中に根付き、岩手らしさとして広く内外に発信されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	0	0	0	0	0	0	0
(2)文化芸術と県民との交流支援体制の整備	1	4,266	2,670	0	0	0	2,670
(3)豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	3	13,884	13,884	0	0	0	13,884
(4)世界遺産登録の推進	4	28,917	26,251	2,197	0	0	24,054
(5)伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	1	4,064	3,971	0	0	0	3,971

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

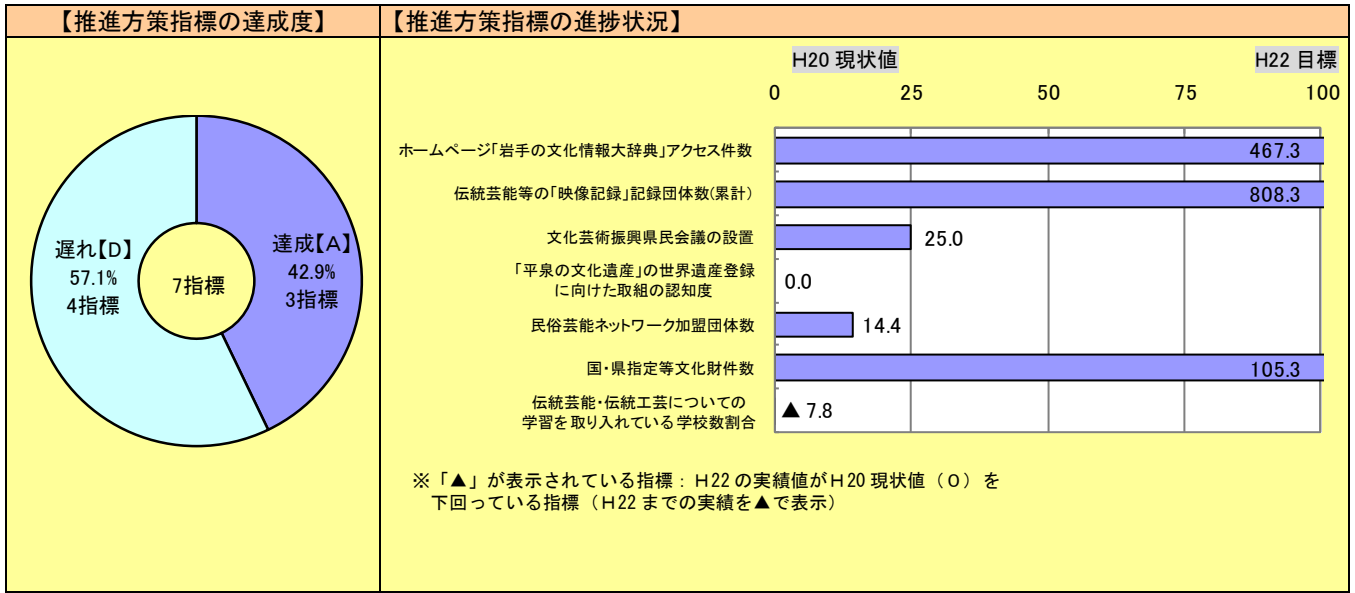
指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
77 地域や学校などで行われている文化芸術(芸術、まつり、行事など)の鑑賞や活動に満足している県民の割合	%	31.2	35.0	32.4	29.0	D
78 本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持つ県民の割合	%	55.9	70.0	59.3	55.1	D

- 地域や学校などで行われている文化芸術の鑑賞や活動に満足している県民の割合は29.0%となり、達成度は【D】となりました。学校における芸術鑑賞事業(岩手県青少年劇場)の鑑賞校や実施市町村が減少するなど、学校において芸術に触れる機会が減少したこと等がその一因と考えられます。
- 「本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持つ県民の割合」は55.1%であり、目標値に達せず達成度は【D】となりました。特に県北地域で民俗芸能団体の数が少なく、地域の伝統芸能活動に関心のない人の割合が高くなっていることによるものです。
- 推進方策指標8指標は、達成度未確定の1指標を除き、「達成」が3指標(42.9%)、「遅れ」が4指標(57.1%)となりました。

特記事項(外部要因等)

- 社会経済情勢の変化として、少子高齢化及び核家族化の進行やライフスタイルの変化、生活様式の多様化により、文化芸術活動や地域の文化の承継に支障が出るケースが出てきています。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「地域や学校での文化芸術活動」の重要度は43位、満足度は4位であり、ニーズ度は45位となっています。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策



(1) 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
224 ホームページ「いわての文化情報大事典」アクセス件数	件	79,169	90,000	71,692	129,782	A
225 伝統芸能等の「映像記録」記録団体数(累計)	団体	12	36	21	206	A

- ホームページ「いわての文化情報大事典」アクセス件数、伝統芸能等の「映像記録」記録団体数（累計）の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
いわて文化芸術王国構築事業費【NPO・文化国際課】(再掲)	(2,670)	-	-	-	-	-	ホームページ「いわての文化情報大事典」アクセス件数	件	90,000	129,782	A
		-	-	-	-	-	伝統芸能等の「映像記録」記録団体数	団体	36	31	B
文化芸術映像資料保存事業費【NPO・文化国際課】(緊急雇用基金)	(1,024)	-	-	-	-	-	文化芸術映像資料の複製	本	500	219	D
		-	-	-	-	-	伝統芸能等の「映像記録」記録団体数	団体	-	175	-

(2) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
226 文化芸術振興県民会議の設置	箇所	-	4	1	1	D

- 文化芸術振興県民会議の設置は、地域の機運の醸成が不十分であるため、新たに設置することができず、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
いわて文化芸術王国構築事業費【NPO・文化国際課】	2,670	コーディネーターの月平均活動回数	回	12	5	D	文化芸術振興県民会議の設置	箇所	4	1	D
		-	-	-	-	-	文化芸術コーディネーターの設置	箇所	4	1	D

(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
227 公立文化ホール利用率	%	55.3	60.0	56.3	-	-

- 公立文化ホール利用率は、文化振興基金による「アートマネージャー育成事業」等により利用率の向上を図りました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
芸術文化振興事業費(青少年芸術普及事業)【生涯学習文化課】	3,324	青少年劇場(本公演)の開催回数	回	28	28	A	公演の鑑賞者数	人	12,100	12,146	A
		青少年劇場(小公演)の開催回数	回	3	3	A	公演の鑑賞者数	人	47	47	A
芸術文化振興事業費(高校生文化活動支援事業)【生涯学習文化課】	9,320	セミナーサポート事業回数	回	25	23	B	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	3	A
		-	-	-	-	-	全国高総文祭個人入賞者数	名	3	5	A
芸術文化振興事業費(岩手県中学校文化連盟補助)【生涯学習文化課】	1,240	県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A
		-	-	-	-	-	全国中文祭派遣個人数	名	20	20	A

(4) 世界遺産登録の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
228 「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組の認知度	%	84.4	85.0	83.7	84.4	D

- 「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組の認知度は、84.4%で前年に比較し0.7%増加していますが、沿岸・県北地域の認知度が低かったため年度目標には達せず、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業)【生涯学習文化課】	2,758	共同研究の実施件数	件	6	6	A	共同研究成果の論文数	本	6	6	A
		平泉文化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉文化フォーラムの参加者数	人	400	400	A
		研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-
文化財保護推進費(縄文世界遺産登録支援事業)【生涯学習文化課】	4,867	「学術会議」開催費用の負担	式	1	1	A	「学術会議」の開催	回	3	3	A
世界遺産登録推進事業費【生涯学習文化課】	17,821	巡回企画展の開催回数	回	3	3	A	巡回企画展入場者数	人	5,000	41,413	A
		「平泉授業」の実施回数	回	30	30	A	「平泉授業」の受講者数	人	1,380	1,787	A
文化財保護推進費(近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	805	関係各種会議参加費用の負担	千円	1,208	805	C	関係各種会議への参加回数	回	11	11	A

(5) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
229 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	319	500	334	345	D
230 国・県指定等文化財件数	件	581	600	594	601	A
231 伝統芸能・伝統工芸についての学習を取り入れている学校数割合	%	83.6	90.0	-	83.1	D

- 民俗芸能ネットワーク加盟団体数は、岩手県民俗芸能団体協議会の加盟数が345団体と、前年に比較し11団体増加しましたが、協議会の存在が十分浸透しなかったため、達成度は【D】となりました。
- 国・県指定等文化財件数は601件と7件増加し、達成度は【A】となりました。
- 伝統芸能・伝統工芸についての学習を取り入れている学校数割合は83.1%となり、達成度は【D】となりました。小規模校の統廃合により民俗芸能団体との連携が取りにくくなっていることが要因と考えられます。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
文化財保護推進費(民俗芸能伝承促進事業)【生涯学習文化課】	3,971	青少年民俗芸能フェスティバルの開催回数	回	1	1	A	青少年民俗芸能フェスティバル鑑賞者数	人	1,000	800	B
		民俗芸能大会(成人の部)開催回数	回	1	1	A	民俗芸能大会鑑賞者数	人	400	800	A

教育委員会

V 教育・文化

政策項目No.33：豊かなスポーツライフの振興

1 目指す姿

県民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に運動やスポーツを楽しむことのできる環境や諸条件等の整備が進み、スポーツに親しむ県民が増加しています。

また、国際大会や各種全国大会において本県選手が活躍し、県民に大きな夢と感動を与えるなど、県民のスポーツに対する意識が高まり、取組が活発化しています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進	1	3,610	3,420	0	1,727	0	1,693
(2)中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進	5	131,894	123,420	0	0	0	123,420
(3)スポーツ医・科学サポート体制の充実	0	0	0	0	0	0	0

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
80 スポーツ実施率※	%	①941.1	50.0	②44.2	③38.1	D
81 ▼国民体育大会天皇杯得点順位	位	36	25位以内	39	33	D

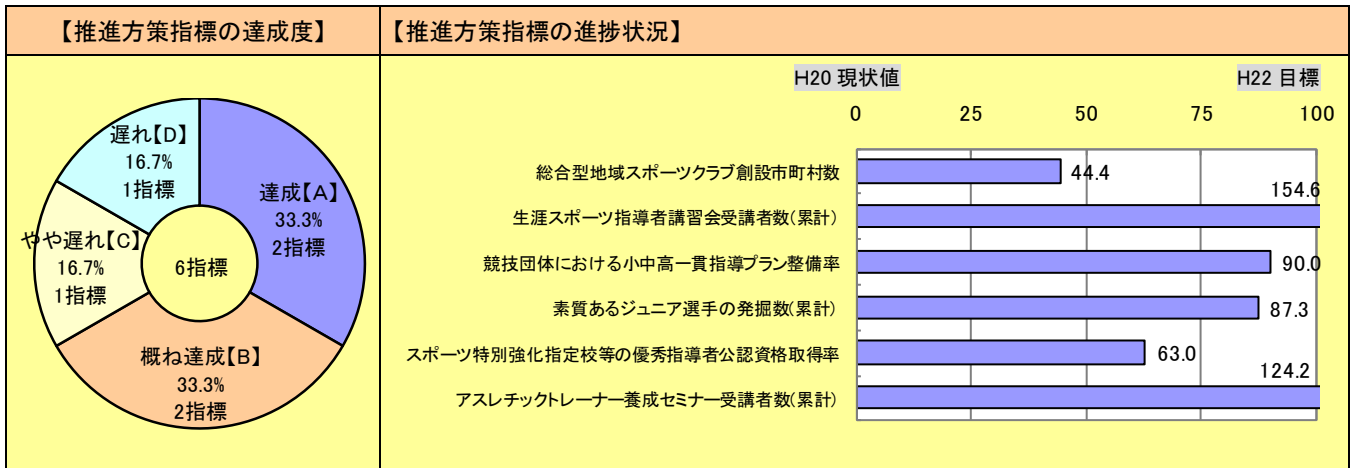
- 平成21年度のスポーツ実施率は、38.1%と前年より6.1ポイント減少し、目標値からは11.9ポイント低く、達成度は【D】となりました。就労年齢層及び子育て年齢層の実施率が低い傾向にあることが要因と考えられます。
- 国民体育大会天皇杯得点順位は、平成22年に33位と前年より順位を6つ上げたものの、目標を下回ったことから、達成度は【D】となりました。女子や成年種別が低迷している上、団体競技の上位入賞が少なく、全体の得点の伸びにつながらなかったことが要因と考えられます。
- 推進方策指標6指標のうち、「達成」・「概ね達成」が4指標(66.7%)、「やや遅れ」が2指標(33.3%)となりました。

【用語解説】※スポーツ実施率：週1回以上スポーツをした成人の割合

特記事項（外部要因等）

- 厳しい経済環境を背景とした企業スポーツの衰退、競技者の減少などにより、競技スポーツを取り巻く環境は一層厳しさを増しています。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「県出身スポーツ選手の活躍」の重要度は38位、満足度は8位、ニーズ度は40位となっています。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策



(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
237 総合型地域スポーツクラブ創設市町村数	市町村	25	34	28	29	D
238 生涯スポーツ指導者講習会受講者数(累計)	人	103	200	189	253	A

- 総合型地域スポーツクラブ創設市町村数は 29 市町村と 1 市町村増加しましたが、年度目標値を下回り、達成度は【D】となりました。創設の必要性をあまり感じていない市町村があること、創設後のクラブ運営継続への不安から、創設準備まで至らない市町村があることが要因と考えられます。
- 生涯スポーツ指導者講習会受講者数（累計）は 253 人となり、達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
生涯スポーツ推進費(生涯スポーツ推進事業)【スポーツ健康課】	3,420	広域スポーツセンター指導員派遣市町村数	市町村	9	32	A	派遣延べ回数	回	18	47	A

(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
239 競技団体における小中高一貫指導プラン整備率(40 競技団体)	%	50	100	68	95	B
240 素質あるジュニア層の発掘数(累計)	人	121	200	158	190	B
241 スポーツ特別強化指定校等の優秀指導者公認資格取得率	%	73	100	87	90	C

- 競技団体における小中高一貫指導プラン保有率（40 競技団体）は 95%、素質のあるジュニア層の発掘数（累計）は、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」の実施により 190 人となり、それぞれ達成度【B】となりました。
- スポーツ特別強化指定校等の優秀指導者公認資格取得率は 90%となり、達成度は【C】となりました。指定校等における部活動指導と資格取得のための講習等の受講の両立には難しい面があることが要因と考えられます。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
岩手県高等学校体育連盟補助【スポーツ健康課】	14,187	全国高校総体出場競技数	競技	33	33	A	全国高等学校体育大会への派遣人数	人	800	840	A
岩手県中学校体育連盟補助【スポーツ健康課】	5,504	全国中学校体育大会出場競技数	競技	16	17	A	全国中学校体育大会への派遣人数	人	362	290	B
競技力向上対策事業費(国体選手等強化事業)【スポーツ健康課】	71,423	強化合宿・県外交流等実施回数	回	320	290	B	強化合宿・県外交流等参加選手数	人	5,400	5,581	A
競技力向上対策事業費(センチュリー21ジュニア選手強化事業費補助)【スポーツ健康課】	22,589	中学生県外チーム交流・選手育成合宿の実施回数	回	30	26	B	中学生県外チーム交流・選手育成合宿の参加選手数	人	452	328	C
		高校生県外チーム交流の実施回数	回	40	66	A	高校生県外チーム交流の参加選手数	人	760	1,042	A
競技力向上対策事業費(いわてスーパーキッズ発掘・育成事業)【スポーツ健康課】	9,717	体カテスト(チャレンジ2)の開催回数	回	10	9	B	体カテスト(チャレンジ2)参加児童数	人	700	488	C
		スペシャルスクールの開催回数	回	22	21	B	スペシャルスクール参加児童数	人	1,200	1,500	A
第71回国民体育大会選手強化事業費【スポーツ健康課】(緊急雇用創出事業)	(167,772)	成年該当年齢選手強化合宿開催回数	回	60	60	A	成年該当年齢選手強化合宿参加人数	人	1,200	2,286	A
		選手発掘育成スクール開催回数	回	10	12	A	選手発掘育成スクール参加人数	人	200	366	A

(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
242 アスレチックトレーナー養成セミナー受講者数(累計)	人	47	80	47	88	A

- アスレチックトレーナー養成セミナー受講者数(累計)は88人で、達成度は【A】となりました。

Ⅶ 社会資本・公共交通・情報基盤

政策項目No.38：安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

1 目指す姿

地震や津波、洪水、土砂災害などから、県民の生命・財産を守る防災施設の整備や即効性のあるソフト施策が進んでいます。

また、災害時の緊急輸送や地域医療を支援する信頼性の高い道路ネットワークの構築、通学路の歩道整備など、安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備が進んでいます。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)地震・津波災害対策の推進	4	1,956,020	971,225	463,639	71,127	387,000	49,463
(2)洪水・土砂災害対策の推進	9	10,032,791	6,854,552	2,484,460	2,067,205	1,924,000	378,887
(3)日常生活を支える安全な道づくりの推進	3	8,529,788	5,780,418	2,001,780	1,440,763	2,315,000	22,875
(4)県立学校施設の耐震化の推進	2	249,810	237,484	190,714	0	3,000	43,770

※再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

※予算額は、平成22年度最終予算額と平成21年度からの繰越額の合計です。

◎目指す姿指標

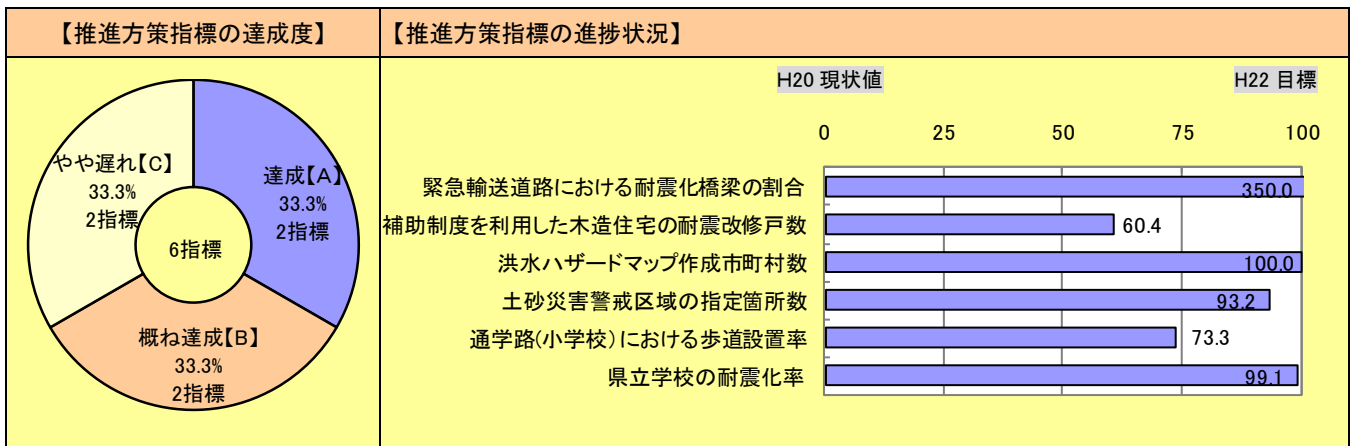
指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
91 河川整備率	%	47.7	47.9	47.8	47.9	A
92 「地域の安全・安心促進基本計画(津波)」策定市町村数	市町村	7	12	9	12	A

- 河川整備率は、河川改修やダム建設などの防災施設の整備が順調に進んだことにより、47.9%となり、年度目標に達したため、達成度は【A】となりました。
- 「地域の安全・安心促進基本計画(津波)」策定市町村数は、宮古市、山田町、岩泉町が新たに策定したことにより、合わせて12市町村となり、年度目標に達したため、達成度は【A】となりました。この計画策定の取組は全国でも他に例が無く、本県独自に沿岸部の全12市町村において作成されるよう取り組んだものであり、平成22年度末時点で計画目標を達成しました。
- 推進方策指標6指標は、「達成」・「概ね達成」が4指標(66.7%)、「やや遅れ」(33.3%)が2指標となりました。

特記事項(外部要因等)

- 近年、地球温暖化の影響等により、海面上昇による高波や局地的集中豪雨による洪水被害が県内各地で発生しており、自然災害への備えの重要性が高まっています。
- 平成23年県民意識調査の結果によると、「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は8位、満足度は17位、ニーズ度は11位となっています。

3 目指す姿を達成するための具体的な推進方策



(1) 地震・津波災害対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
272 緊急輸送道路における耐震化橋梁の割合	%	79	83	81	93	A
273 補助制度を利用した木造住宅の耐震改修戸数	戸	58	280	131	192	C

- 緊急輸送道路（県地域防災計画で指定され、災害時に優先的に交通の確保が図られる道路）における耐震化橋梁の割合は、前年度から12ポイント増加して年度目標を大幅に上回る93%となり、達成度は【A】となりました。
- 補助制度を利用した木造住宅の耐震改修戸数は、景気低迷による改修戸数の伸び悩み等により、平成22年度は61戸の利用があったものの、累計192戸と目標値に到達できず、達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
木造住宅総合耐震支援事業費【建築住宅課】	14,153	県民向け講習会の開催(累計)	回	8	10	A	耐震診断の実施戸数(累計)	戸	5,210	3,747	C
		助成制度の運用に係る連絡会議の実施(累計)	回	8	8	A	耐震改修実施戸数(累計)	戸	280	192	C
海岸事業【河川課】	266,540	防潮堤整備数	箇所	4	4	A	海岸保全施設整備率	%	84.9	85.1	A
三陸高潮対策事業【河川課】	178,618	河川水門整備数	箇所	1	1	A	「地域の安全・安心促進基本計画(津波)」策定市町村数	市町村	3	3	A
海岸高潮対策事業【漁港漁村課】	511,914	実施地区数	地区	4	4	A	防潮堤整備延長(累積)	m	30,674	30,324	B

(2) 洪水・土砂災害対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
274 洪水ハザードマップ作成市町村数	市町村	14	15	15	15	A
275 土砂災害警戒区域の指定箇所数	箇所	1,536	2,417	2,025	2,357	B

- 洪水ハザードマップ作成市町村数は、目標値の15市町となっており、達成度は【A】となりました。
- 土砂災害警戒区域の指定箇所数は、前年度から332箇所増加して2,357箇所となり、達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
水防警報施設整備事業費【河川課】	14,486	保守点検箇所数	箇所	26	26	A	災害時システム稼働率	%	100	100	A
洪水浸水予測図等作成事業【河川課】	0	洪水浸水予測図作成市町村数	市町村	0	0	A	市町村洪水ハザードマップ作成数	市町村	0	0	A
がけ崩れ危険住宅移転促進事業費【砂防災害課】	0	事業説明実施戸数	戸	5,400	5,400	A	新規移転合意戸数	戸	3	1	D
		—	—	—	—	—	移転戸数	戸	3	0	D
		—	—	—	—	—	問い合わせ戸数	戸	10	5	D
煙山防災ダム管理費補助【農村建設課】(再掲)	4,300	適正なダム管理	式	1	1	A	★計画洪水量に対する被害発生件数	件	0	0	A
河川改修事業【河川課】	2,222,385	河川改修実施箇所数	箇所	41	41	A	河川整備率	%	47.9	47.9	A
ダム建設事業【河川課】	3,518,805	ダムの建設及び改良箇所数	箇所	4	4	A	河川整備率	%	47.9	47.9	A
砂防事業【砂防災害課】	374,107	砂防事業概成箇所数	箇所	3	2	C	土砂災害危険箇所整備率	%	8.6	8.6	A
急傾斜地崩壊対策事業【砂防災害課】	193,097	急傾斜地崩壊対策事業概成箇所数	箇所	1	1	A	土砂災害危険箇所整備率	%	15.1	15.1	A
土砂災害対策基礎調査【砂防災害課】	181,836	基礎調査結果に基づく土砂災害警戒区域の指定	箇所	2,417	2,357	B	土砂災害警戒区域指定箇所数	箇所	2,417	2,357	B
国土調査事業費【農村計画課】	349,836	第6次十箇年計画に基づく計画的な地籍調査の実施	%	83.1	82.8	B	着実な調査完了	市町村	15	14	B
防災ダム事業、ため池等整備事業、海岸保全施設整備事業【農村建設課】(再掲)	999,225	実施地区数	地区	21	21	A	農地防災対策実施箇所数(累計)	箇所	386	386	A
治山事業【森林保全課】(再掲)	2,069,993	実施地区数	地区	80	66	B	山地災害危険地区着手率	%	52.5	53.0	A

(3) 日常生活を支える安全な道づくりの推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
276 通学路(小学校)における歩道設置率	%	72.6	74.1	73.1	73.7	C

- 通学路(小学校)における歩道整備率は、法律に基づき作成する特定交通安全施設等整備事業実施計画(H20~24)により整備を進めており、前年度から0.6ポイント増加したものの、計画半ばのため完了工区が少なかつたこと等から73.7%となり、達成度は「C」となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
交通安全施設整備事業【道路環境課】	3,587,593	歩道整備完了箇所数	箇所	10	10	A	通学路(小学校)における歩道設置率	%	74.1	73.7	B
道路災害防除事業【道路環境課】	1,487,753	落石等危険箇所整備完了数	箇所	12	11	B	落石等危険箇所整備率	%	25	33.0	A
凍雪害対策事業【道路環境課】	705,072	防雪施設等完了箇所数	箇所	9	7	C	-	-	-	-	-
橋梁補修事業【道路環境課】(再掲)	(3,965,489)	緊急輸送道路における橋梁耐震補強完了数	橋	14	25	A	緊急輸送道路における耐震化橋梁割合	%	83	93	A

(4) 県立学校施設の耐震化の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H20)	目標値 (H22)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	達成度
277 県立学校の耐震化率	%	74.5	86.0	80.4	85.9	B

- 県立学校の耐震化率は、「岩手県耐震改修促進計画」に基づき、計画的に県立学校の耐震補強工事を進めており、目標値の86.0%に対し、85.9%の実績値となり、達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

事業名	決算額 (千円)	活動内容				成果指標					
		活動内容	単位	計画値 (H22)	実績値 (H22)	達成度	指標名	単位	目標値 (H22)	実績値 (H22)	達成度
校舎大規模改修事業費(校舎大規模改修事業)【教育企画室】	182,158	・学校施設の耐震化耐震補強：盛岡工業黒沢尻北	箇所	2	2	A	県立学校の耐震化率	%	86.0	85.9	B
校舎大規模改修事業費(屋内運動場大規模改修事業)【教育企画室】	55,326	・学校施設の耐震化耐震補強：花北青雲、黒沢尻工、北上翔南、久慈、軽米、伊保内、花巻農、盛岡北	箇所	8	8	A	県立学校の耐震化率	%	86.0	85.9	B

教育委員会